

平成31年3月号 環境影響評価事後調査実施状況（概要版）

平成31年3月
佐久市・北佐久郡環境施設組合

今号では、平成30年4月から平成31年3月までに実施した「建設工事に伴う環境保全措置」及び「生活環境（騒音・振動等）に対する事後調査」について報告します。

1 建設工事に伴う環境保全措置について

平成30年3月末から本体建設工事が始まり、主に基礎工事・プラント等の建て方工事を行っています。また、平成30年6月より法面保護工事に着手し、9月末に完了しました。

今年度の環境保全措置として、土砂運搬車両の走行に伴う工事現場出入口の路面洗浄や掘削工事に伴う雨水排水の濁り及び水温の監視、コンクリート打設工事に伴う排水の水素イオン濃度監視及び中和処理等を実施しました。



H30.12撮影 建設地全景



工事出入口の路面洗浄



騒音対策型機械の使用



雨水排水の濁り及び水温の監視



水素イオン濃度の監視及び中和処理

2 生活環境に対する事後調査について

今年度は、騒音・振動・水象について事後調査を実施しました。

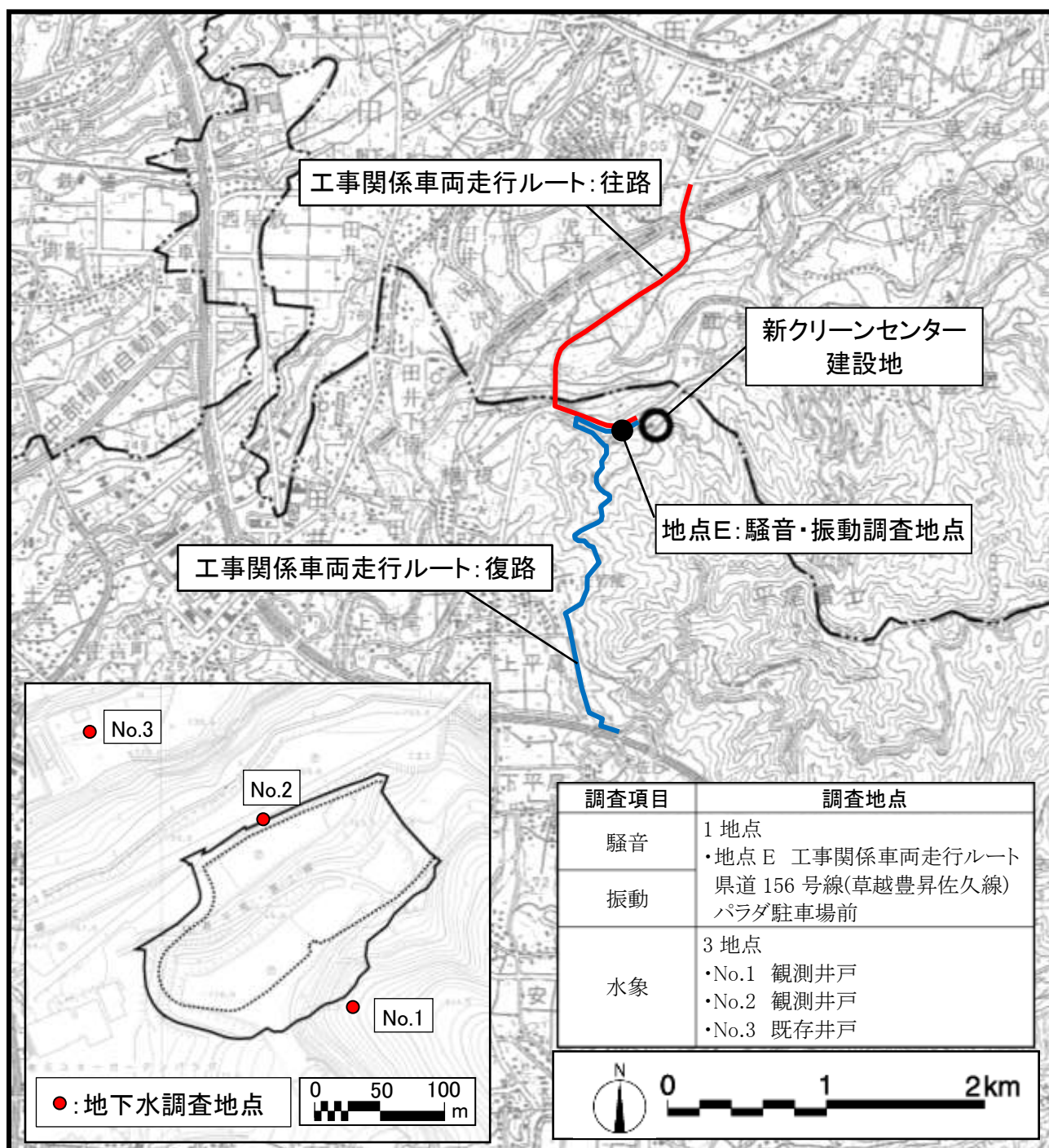
・騒音・振動調査について

ごみピット底板コンクリート打設工事に伴い、工事関係車両の一日当たりの走行台数が過去南北線及び豊昇で実施した結果を上回ることが判明したため、工事関係車両が最も多く走行する地点にて騒音・振動を調査しました。

・水象調査について

工事に伴う地下水位への影響を調査するため、工事期間中は月に1度地下水位を測定しています。

調査地点について、下図に示します。



（１）騒音・振動の事後調査結果について

工事関係車両の走行に伴い発生する道路交通騒音・振動の測定について、工事関係車両の走行台数が比較的少ない 10 月 10 日に現況調査を実施しました。その後、工事関係車両の走行台数が最も集中する 10 月 22 日に事後調査を実施しました。

騒音の事後調査結果は 63dB、振動の事後調査結果は 31dB で、いずれも予測結果に近い値であり、環境保全のための目標値 65dB を満たしていました。

調査結果について表 1・表 2 に示します。

表 1.騒音及び振動の現況・予測・事後調査結果

項目	単位	現況調査	予測結果	事後調査	環境保全のための目標値
騒音	dB	58	62	63	65
振動	dB	25 未満	33	31	65

表 2.道路交通量現況・事後調査結果

調査区分	単位	大型車		小型車	合計
		一般車	工事関係車両		
現況調査	台	22	17	971	1010
事後調査	台	33	329	966	1328



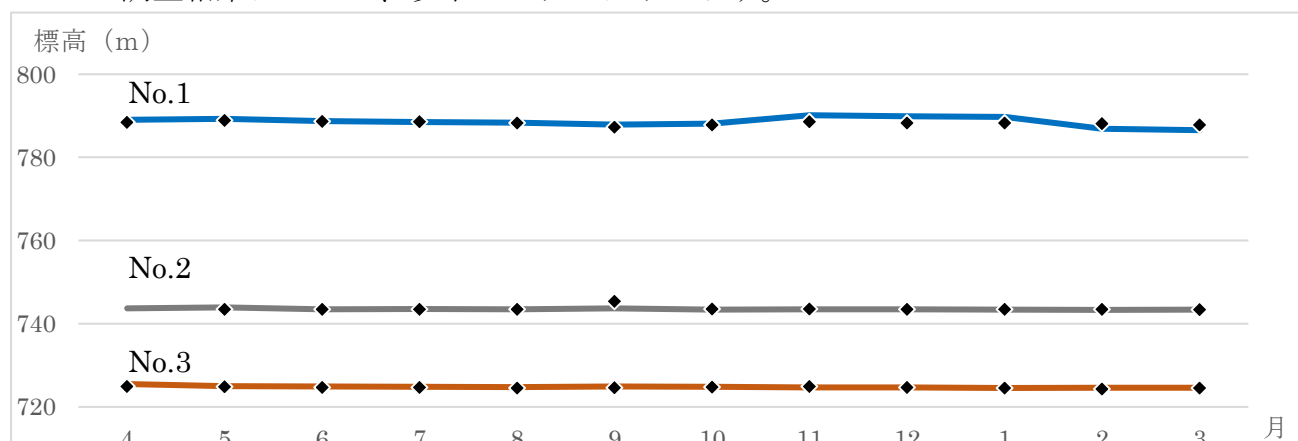
騒音・振動・交通量調査の状況

（２）水象の事後調査結果について

建設地より高い位置にある No. 1 及び低い位置にある No. 2 (いずれもボーリング調査跡の穴を利用)、周辺民家にある既存の井戸である No. 3 の 3 箇所で平成 30 年 4 月から平成 31 年 3 月までの間、地下水位を測定しました。

調査結果については、年間を通じてほぼ一定の水位であり、No. 1 及び No. 3 については工事開始前、No. 2 については工事開始時の調査結果と比較しても大きな変動は見られませんでした。

調査結果について、以下のグラフに示します。



※No. 1 及び No. 3 の◆は工事開始前 (H25. 2～H26. 1)、No. 2 の◆は工事開始時 (H28. 5～H29. 3) の調査結果を示します。

3 次号（４月）の内容

◆オニヒョウタンボクの挿し木の状況

◆ヤエガワカンバの播種個体の生育状況 について予定しています。